

行ってきました！全知P

報告



8/26. 27 「全国特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会 平成 29 年度 第 36 回全国研究大会 東京大会」が東京プリンスホテルでありました。東京タワー  のすぐふもとで、良い眺めでしたよ（東京タワー、登りたかった）。

全国の知的特別支援学校だけの集まりです。とは言え、約 1000 人の集まりでした。

今年はこの連合会が発足して創立 50 周年です。これから 10 年は「多様性を認め合い共に育む心のネットワーク～すべては子供たちの笑顔のために～」というテーマになります。（ちなみに昨年までは「地域社会で豊かに生きるための『自立と支援』」でした）このテーマ、神奈川の事件も関係しているかな？という印象がありますね。皆がゆとりをもてて、多様性を認めることが当たり前になって欲しいです。

来賓も国から、主催地の東京からと毎年のことですが、長い職名の方々が列席していました。

開会式、全大会、シンポジウム、次の日は講演会という内容になります。

全大会では、まず行政説明で文部科学省と厚生労働省からのお話。2 学期の終わりごろに逐語文の入った全知 P の広報誌が配られますよ。詳しくは（字ばかりですが）読んでください。私なりのポイントは以下の通り。

全大会

* 文科省 初等中等教育局 特別支援教育課

- ・義務教育の子どもたちは減っている
が、特別支援学校（1.3 倍）特別支援学級（2.1 倍）など増加傾向
- ・特別支援教育の課題 6 つ
その中で目新しいもの…就労支援コーディネーターの配備
- ・切れ目ない支援体制構築への予算は…25 億！（ブルゾンちえみ風に）
- ・特別支援学校学習指導要領等の改訂について ポイントは 4 つ
ポイントのひとつに教育内容について、重複障害の子どもたちのより実態に合った内容に替えることができることを規定したこと。また各教科の目標や内容も学年で規定しないでお

子さんの実態にあわせて幅をもって指導できると規定したことなどがあります。多分実態はもう個別に合わせているのだろうけど指導要領は違ったのね、という改めて先を読んだ制度って難しいのかなあと感じました。

特別支援学校における教室の不足は、1位が神奈川県で256!茨城県は8位で142でした!

そして、障害者施策に「障害者の自己実現を目指す生涯学習政策」が入りました。今までは「仕事」と「生活」という視点だったのが「仕事」、「生涯学習」、「生活」という第三の居場所づくりを進めるとのこと。できれば地域のスポーツの場、交流を想定しているようです。

***厚労省 社会・援護局 傷害保険福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室**

日本は法治国家。法律が拠りどころ。利用する支援の根拠には・障害者総合支援法・児童福祉法があります。高学年の方は感じていると思いますが、福祉サービスは増えてきました。障害福祉サービス等の予算、29年度は488億円です。10年間で2倍に増加しています。予算の増加は必要とされていることの表れと受け止められています。

放課後等ディサービスは文科省と厚労省の連携が必要なもの、学校と放課後等ディサービスのサービスの一貫性は大切（ホントです）。H24から障害児も保育所を利用しやすくするために保育所等訪問支援も制度化されています。

法改正については保育所や家への訪問の支援のサービスを広げたことでした。

また、平成32年度までに児童発達支援センターを各市町村に1か所以上設置することが明記されました。おそらく、つくばみらい市が該当しますね。ファイト!

放課後ディサービスの質の向上への対応について

- ・「放課後等ディサービスガイドライン」って知ってますか?文科省のホームページで見れますよ。
- ・自己評価結果を1年に1回以上公開する事。保護者向け等放課後等ディサービス評価表もあるんです。

事業所を育てるのは、保護者です☺️ ガイドラインについて事業所に聞いてみましょう。

シンポジウム

〈テーマ〉 未来へつなげる子供たちの安全・安心

ずばり、防災です。ここ5年くらいはずっと防災は何かしらテーマになっていますよ。

私はひそかに決意をしたくらい、各校の発表は考えさせられました。

- ・和歌山県立みくまの支援学校 保護者による「子どもの命を守る取組」



- ・愛知県立半田特別支援学校 人の和、学びの輪、地域の輪が広がる PTA 活動を目指して
～PTA 防災部の取組を通して～
- ・東京都立八王子特別支援学校 ～共生地域の実現をめざして～「みんなで見守りプロジェクト」



防災研究指定校の研究費があったような感じではありましたが、いやあ、すごい一言。学校・家庭・地域で何が出来るかを真剣に話すことは大事じゃないですか？！

本当に、皆さま9月の「防災を考えよう」に来てほしいです 🐼 災害を経験した地域を持つ学校なのに…。やばい。と思いました。

① 組織②参加への意識づくり③発信のやり方を参考にするといい、という講評はその通りだと感じました。

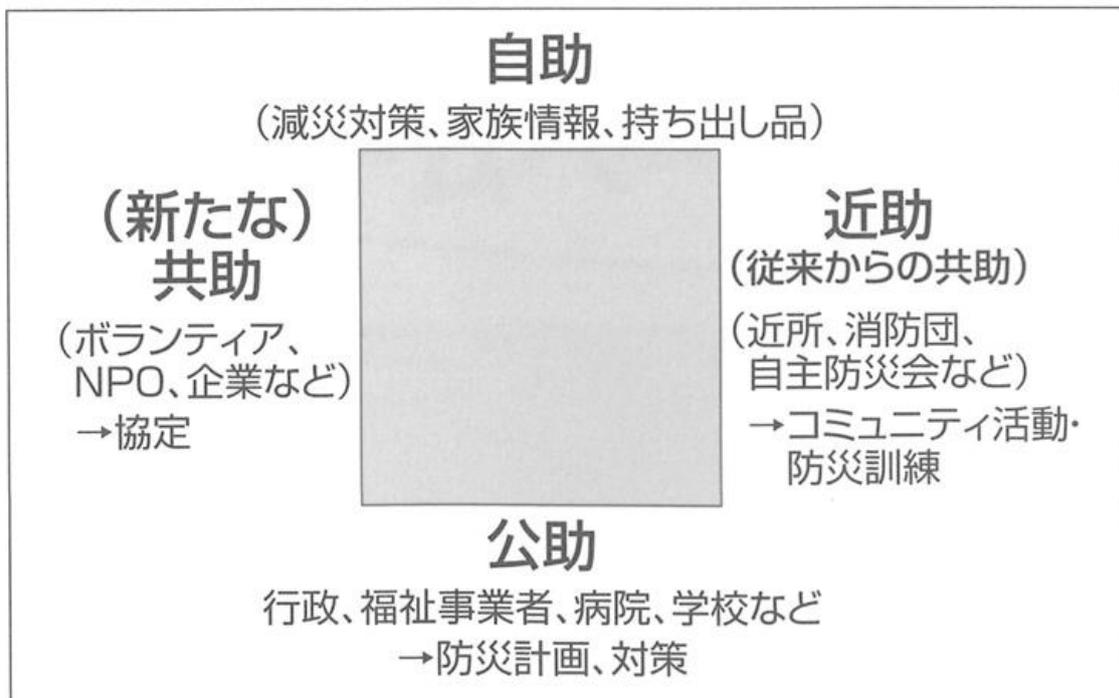
個人的に、いいなあと思ったのは、スクールバスに「災害時 あなたの支援をおねがいます！」という文字をのせたこと。まつりでの防災ブース開設。緊急時の知的障害者への理解を求めるリーフレット作り。関係作りとして地域への作品展示（病院・郵便）。

そして、防災部という組織を確立すること。

一人ひとり、自分の子どものこととして一緒に考えませんか？
一度にやるのは難しいけど、安河内頑張ります！

それぞれの学校の発表資料は、PTA 図書室に置きます。または本部の誰かに声をかけてください。

最後は跡見学園女子大学の鍵屋一さんの、「大災害対応」防災を進めよう！のお話。



公助には、自治体職員の減少が止まらない現状では限界があります。自助も弱い現実。みなさん、災害用伝言ダイヤルを何も見ないで言えますか？
なんとなく「自分は大丈夫」と思っていないませんか？何とかかなと思っていますか？

最後はPTAが防災を進めよう、がんばって。という内容でした。
はい、がんばります。

2日目は、スペシャルオリンピックス日本の立ち上げをされた、細川佳代子さんのお話。以前の細川首相の奥様です。とってもチャームングで旦那さんと正反対のキャラクター（とのこと）。応援してくれるこんな熱い人がいるなんて、圧倒されました。

毎回、元気をもらう会です。行かせてもらって、ありがとうございました。

(安河内 崇代)